

新規採用職員研修（I部）

“鉄は熱いうちに打て”の言葉の通り、入庁時の研修は地方自治体職員としての基盤を確立する最も大切なものです。社会人、組織人、地方自治体職員としての自覚を高めると共に、住民起点の行政サービスについて意識付けを行ないます。そして地方分権の時代にふさわしい自律性・主体性の高い職員としての基盤をつくります。

【研修のねらい】

- ①地方自治体職員として求められる意識の持ち方やものごとの考え方を学び、職員としての意識変革を図る。
- ②仕事の進め方の基本や職場の中での行動の仕方を学習する。
- ③ビジネスマナー基本を習得する。

【期 間】2日間

【研修内容】

1日目	地方自治体職員としての意識 仕事の基本 ビジネスマナー①	<p><討議> 地方自治体職員となることで今までと何が変わるか</p> <p><講義> 社会人、組織人、地方自治体職員として求められる意識</p> <p><講義> 仕事の基本</p> <p><講義とロールプレイ> ビジネスマナーの基本 身だしなみ、言葉づかい、敬語、挨拶</p> <p><討議> 私たちが考える研修中のルールを作る</p>
2日目	ビジネスマナー② 総合演習	<p><講義とロールプレイ> 好感度の高い立ち居振る舞いと窓口対応</p> <p><講義とロールプレイ> 電話対応 窓口対応の基本</p> <p><実習> 「9人のポジション」</p> <p><グループワーク> これからの自己変革目標を設定する。</p>